

東海の綿織物・毛織物と産業遺産



愛知物産組工場図 名古屋市博物館蔵 写真提供：同館



縞帳（愛国縞） 個人蔵



片岡 春吉 像
津島市天王川公園



一宮市の鋸屋根工場群
旧升善毛織工場（推定大正初期）



葛利毛織工業工場（昭和戦前期）

パネル展

2016年11月22日（火）～12月4日（日）

開館時間：10時～17時 金曜日は20時、火・水・木曜日は18時まで開館

休館日：11月28日（月）

講演会

2016年11月27日（日）13時～17時

開場：12時30分

観覧・聴講 無料

会場：名古屋都市センター（金山南ビル内）11階まちづくり広場

共催：公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター 後援：名古屋市、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会

東海地域は日本におけるものづくりが盛んな地域としてよく知られています。背景には、明治期以降の当地域における繊維産業の繁栄が大きく寄与しております。

本年のパネル展は、昨年「東海の絹文化と産業遺産」につづき、この地域の代表的な繊維産業である綿織物業と毛織物業をテーマにして、その歴史と綿織物業・毛織物業の発展に貢献した人々、それらに関連する産業遺産を紹介します。

パネル展 11月22日(火)~12月4日(日) 休館日28日(月)

- 展示内容
- I 東海の紡織産業史
東海の紡織技術史 ほか
 - II 綿紡績・綿織物
「物産織」で名を馳せた愛知物産組 ほか
 - III 毛紡績・毛織物
尾西地方の毛織物 ほか
 - IV 実業教育と産業遺産
三河ガラ紡の遺産—水車— ほか



講演会 11月27日(日) 13:00~17:00 12:30 受付開始

第1部 13:00 開会

基調講演「東海の紡織技術史とその遺産」

講師 石田 正治 (会員)

特別講演「片岡春吉と尾西毛織物史」

講師 浅井 厚視 (津島市立南小学校長)

報告「棉から綿糸まで」(実演)

講師 野村 千春 (会員)

報告「製糸のあけぼの—綿打ち・諏訪小倉織の姿をもとめて—」

講師 林 久美子 (会員)

報告「繊維産業の繁栄を偲ばせる産業遺産 一宮市の鋸屋根工場群」

講師 岩井 章真 (会員)

第2部 16:20 中部産業遺産研究会 公開定例研究会

報告「産業遺産の見方・調べ方：近世・近代の古文書の読み方」

講師 水野 信太郎 (会員)

17:00 閉会

会場：名古屋都市センター（金山南ビル内）11階まちづくり広場 名古屋市中区金山町1丁目1番1号 金山南ビル

●アクセス JR・名鉄・地下鉄名城線「金山総合駅」南口から徒歩1分 ※会場へは公共交通機関をご利用ください。

●会場のお問い合わせ 名古屋都市センター 電話：(052)678-2212 ホームページ：<http://www.nui.or.jp>

●内容のお問い合わせ 中部産業遺産研究会 e-mail：fujita-hideki@mem.iee.or.jp (パネル展と講演会実行委員会 藤田)
ホームページ：<http://csih.sakura.ne.jp/> 電話：(052)876-0337 (事務局 大橋)